

2012.06.23『原発』Yes or No 公開討論会 アンケート結果

Q1.今日の公開討論会についての感想をお聞かせください。

【 今後もこの企画を続けてほしい 】

- ・ 原発容認、反対と立場が違って話し合いが出来ることがわかった。今後もどんどん公開討論会を開催すべきだと思った。
- ・ 議論の中でいろいろな問題点が見えてきました。是非、これからも繰り返し続けてほしいです。
- ・ 原発 Yes、No を判断するのに、よい機会となった。また次回も続けてもらいたい。
- ・ 討論会ははじめてだったので、個人的に面白かったです。容認派パネラーの皆様、よくぞ参加して下さいました。これからも、容認・推進派の論を聞きたいです。
- ・ 反対・容認双方のパネリストの方々の真摯な態度に感銘。継続的開催を希望します。
- ・ 大変に白熱したいい会だったと思います。伺って本当に良かった。菅さんはじめ、出席パネリストの方々、ありがとうございました。中立の立場で開催されたといいつつも、会場は圧倒的な反・脱原発の参加者。そんな雰囲気の中、推進のパネリストの方々の勇気と誠意を称えたいと思います。私自身は即原発をやめたいという考えですが、賛成・反対の二極論ではこの大きな大きな日本が抱える不幸は解決しない。このような会・議論が更に日本の隅々にまでひろがっていきますことを祈りつつ。
- ・ 賛成、反対の両派が参加しているのが良い。どちらかに偏ることのない、このような機会があつてこそ、個々人が正しく判断が出来る。非常に価値ある機会。今後も続けてほしい。
- ・ 漠然と原発に反対と思ってきたが、いろいろな科学的知識などを理解、また知ろうと努力した上で、次回も参加したいと思いました。

【 参加して良かった 】

- ・ 原発維持・賛成派の方々の意見が聞けたのがよかった。こういう議論が積み重なることこそ、本来日本にかけたものを補うことになる。
- ・ 大変重たいテーマなので、一回だけの討論では結論し、納得できる迄には到らない感じ。然し、推進派と反対派の意見を生で聞けて良かった。
- ・ 推進派の方が参加してくれて、臆せず、媚びずに自論を語ってくれた。大変よい機会だった。
- ・ 政治家、原子力科学者、社会学者などのパネリストと会場の私たちの距離がなく良かった。もっと質問できると良かった。

【 討論内容(参加パネリストへの)感想 】

- ・ 専門家の英語、カタカナの専門用語がわからなかった。一般の人の心に響く言葉を発信できる人、空気を読める、テンポの良い討論会になるといい。質問カードを用意し、会場の参加者から、討論内容に沿った質問を記入してもらい、それに回答するスタイルもよいのでは？
- ・ 技術者、研究者の表面的な議論にしかなくておらず、消化不良であった。今後のブラッシュアップに期待。
- ・ 容認派がデータなどを示して理論的に展開したのに対し、反対派は感情的に話をしていた感じがする。テーマを絞るべき。容認派が経済について述べているのなら、反対派もデータなどをきちんと示して原発がなくてもエネルギーは足りるということを反論すべきだった。
- ・ 推進派の方々の倫理観をもう少し個別に伺いたかったが、全体として多角的な議論がなされたのではないかと思う。
- ・ 推進派の人は、アウェーの土俵でよく頑張っていたと思う。(しかし所詮は理論家でしかないと感じた。)菅さんが総理をやめて、元の歯切れのよい菅さんに戻っていてほっとした。『対処不能だから止めたほうが良い。』という意見に深く同意。
- ・ 菅前首相が出席されたということで、単に議論だけで終わらずに何等かの具体的な対応策が実行レベルで担保される可能性が高いと、大いに期待しています。
- ・ 容認・反対両者の話が聞ける機会は滅多にないので、とても貴重な会だったと思います。菅さんのビジョンを改めて聞いてよかったです。
- ・ 賛否両派の方々が同じ場で議論するというのは非常に大きな意義があるし、貴重な場である。原発反対の人が多かったのか、賛成派の人や先生方にとってはアウェーな空気があったように思う。原発事故は容認派の先生たちのせいではないわけだが、批判の矛先がむいているように思われたのが少し気になった。
- ・ それぞれの立場での意見が聞いて良かった。特に菅直人さんの明快な将来に向けての脱原発ビジョンが良かった。宮台さんの話が批判的・難しすぎた。高木さんの話も現実的でした。
- ・ 宮台先生の『不確実性』の論理が大変面白かった。菅さんのは政治的・経済的リスクを踏まえ、理系の人としてしっかりとした見通しを語られ、納得した。
- ・ 宮台氏と菅氏は現実世界をよく見ており、理解が深い。これに対し、柘植氏は(問題の)永遠の先送りに思え、そのほかの容認派も視野が狭いと感じた。
- ・ Yes派の考えが経済的すぎる。No派の考えが倫理的すぎる。
- ・ 高木さんがおっしゃったように、討論会のテーマが事前にきちんとパネリストのみなさんに理解されずに始まった感があった。最後には議論がかみ合いましたが。
- ・ はっきり言って、賛成・反対の議論はかみ合っていなかった。お客さんも反・脱原発の人が多く、フェアな議論ができたかは怪しい。それでも、原発について改めて考えさせられたし、何より楽しかったです。
- ・ 反対・容認両派の質問の意図の食い違いが何度か生じているのかな、と思うところがあり、議論の難しさを感じました。
- ・ マエキタさんが言っていた生命倫理について、命についての議論を聞きたかった。大飯の再稼働についての推進派の方々の樂觀さにもっとつつこんでほしかった。事故が防止できるのか？事故が起きた時に国民を被ばくから守れるのか、聞いていただきたくです。対処できないリスクだから原発はだめなんだ、という菅さんの言葉が本当に心に残りました。
- ・ 6/19に『原子力基本法案』に変更が加えられてしまいました。柘植先生が『平和利用に限る。このタガを外してはいけない』と仰いましたが、そこが危うくなっている今、どうしたらいいのでしょうか。『私たちの安全な暮らし』のために、今日電力について、原発について、議論していることが空しくなります。

- ・ 柘植さんが、菅さんが到着した際に、投票で決めるしかないと言っていたことがよかった。
- ・ 科学者、技術者、社会学者、ジャーナリストなど、様々な立場の人が、様々な観点から議論している点が良い。視野が狭くならず、原発に対して、何をどう考えればよいのか、考え方がわかった。
- ・ 日頃じっくり伺うことができない推進派の方々のお話を伺えるのが良い。(推進派が)倫理観を無視できる理由は何なのか、経済や様々な目先の事の問題解決の別の道を探らず、しがみつくなぜなのか？現在の思考の枠を超え、国民の全てが納得のいく答えを出していきたい。
- ・ 無駄なやりとりのない、率直な意見交換だった。その分、意見の甘さがよくわかった。
- ・ 原発推進派の方の分析、意見を聞くことができよかったです。政府の姿勢に対する反証を考える糸口になりました。
- ・ こういう討論会がほかにはないので、反対・容認の考え方の立脚点の違いがよくわかりました。
- ・ パネリスト同士が互いの質問に答えず、自分の得意なことだけ話す。議論がかみあっていないし、相手の質問をつぶす。反対派ばかりなのかな、会場の空気が異常。技術に絶対が無いなら、判断にも絶対はない。

【 その他、さまざまなご意見・ご感想 】

- ・ 今まで『安全』とは考えていなかったけれど、考えが足りなかったことに深く反省しています。反対の方々にもいろいろな基盤があるのだなあ、と感じました。科学的な勉強不足を感じました。
- ・ 反対・容認双方のさまざまな考えを直に聞ける機会があったことは、原発の是非が身近な問題だと感じられる良い方法だと思います。
- ・ 討論会の前に、様々な立場の人が参加した勉強会をもっと頻繁に開催すべきでしょう。それから討論会を行うともっと有意義な内容になるのでは。我々ももっと勉強しなければ！
- ・ 十人十色。さまざまな意見、見識を持つ一般の人々が自由に論議するのは正しい。
- ・ 想像通り、反対派ばかりが集まっていた。これでは投票バイアスがかかりすぎ。これで民意と言われても困る。反対派は単純な反対だが、賛成派はいろいろある。これで選択肢が4つしかないなんて乱暴な投票。
- ・ 原発国民投票という、重要であるにもかかわらず実現が難しい活動から、今回のようなイベントが開かれたことはすばらしいことだと考えます。
- ・ 今後、再生可能エネルギーに対する議論の重要性を強く感じた。
- ・ 今の日本、これからの日本に不安を感じ、問題意識を持った皆がこうして集まれることは大変素晴らしい事だと感じた。
- ・ 積極的に原発の是非について討論し、私たちの持っている選択肢を知りたいし、新しい選択肢も創造したいです。